

# 千里国際学園中等部・高等部

## SENRIINTERNATIONAL SCHOOL

(略称 SIS)



生徒と保護者のためのハンドブック  
Student / Parent Hand Book

---

## 千里国際学園の教育理念

---

### 1. 多文化教育

千里国際学園は、生徒が、それぞれ個人としての強い自覚と責任感を持って、自分の持つ文化や他の人が持つ様々な文化をともによく理解し、人間の文化や習慣が実に豊かな多様性を持っていることを喜びとして感じ取れるように成長していくことを、目指します。また、地球上の全ての人々は互いにかかわり合って生きていけることをよく理解し、文化の違いを超えてコミュニケーションを築いていけるような、創造性にあふれる成熟した人間に成長することを、目指して教育します。

\* 多文化教育とは、様々な民族が互いに差別をする・されることなく暮らしていくことを目指す社会で必要となる知識や態度を育むための教育(オーストラリアなどが発祥となった)のことで、特に知らずのうちに自己の文化を当然のものとして押し付けやすい多数者が、少数者の文化をより深く理解することを、強く求めています。

### 2. 個性と才能の開発

千里国際学園は、生徒が、自分で参加し学びとる過程を大切にし、自分の持つ才能や能力を見出し、自分にあった学習方法や成長のしかたを見つけて、自らすすんで努力を重ねて自分の道を歩んでいけるように、支援し増し卵。

### 3. 英知と行動力の友愛の心の育成

千里国際学園は、生徒が、健康で目的意識を持って生活し、豊かな個性を持ち、知恵と忍耐を駆使して、進んで困難に挑む人物となるよう目指します。また、世界に住む人々が互いの存在を常に考え、ともにいつくしみ合う心を世界に広げ、地球上の全ての人々がより良い未来を創り上げるために優れたリーダーシップを発揮できる人物となることを目指して教育します。

---

## 5つのリスペクト

---

Respect for Self  
Respect for Others  
Respect for Learning  
Respect for the Environment  
Respect for Leadership/Authority

千里国際学園は、「自分の行動や、よい人間関係を維持していくためにどうすればいいか、自分自身でよく考え、責任を持って決め、行動する力が、生徒それぞれの中に備わっている」と考える立場をとっています。この学園で生活する人々すべてはこの「5つのリスペクト」を心にとめて、物事をどう進めていけばよいか決定したり、個人の行動の方針を決めたりするように、期待されています。

みなさんの中には、何事も自分で決めて行動するやり方には、まだあまりよく親しんでいない人も居るかもしれません。例えば「5つのリスペクト」を実現するために、具体的にはどう考えてみればいいのか、いくつかヒントを挙げてみます。

#### 1. 自分を大切にする Respect for Self

健康を保つために清潔を心がける  
よく食べ、よく睡眠をとり、適度に身体を動かす  
ドラッグ・アルコール・タバコなどとは関わらない  
何事にも常に最善の努力をする

#### 2. 他の人を大切にする Respect for Others

人の話を注意を向けてよく聞く  
友だちの自立をサポートし、励ます  
困っている人を助ける  
新しい仲間を歓迎し学校の様々な活動に招き入れる  
他校の生徒と仲よくする  
地域の人々や様々な国籍の人と親しみを深める  
迷惑な行いをやめるようにすすめる

#### 3. 学習を大切にする Respect for Learning

必要なものを準備してクラスに時間どおりに来る  
宿題や課題の期限を守る  
学ぶことの喜びをじっくりと味わう  
図書館やリソースセンターをマナーよく使いこなす  
友だちと語り合うときはラウンジかカフェテリアに行き教室を静かに保つ

#### 4. 環境を大切にする Respect for the Environment

ゴミは燃えるもの・燃えないものの弁別をしてきちんとゴミ箱に捨てる  
自分のロッカーは責任を持って整頓し中のものは自分で管理をする  
どの部屋もいつもきれいに使い、汚れていたらそうじをする  
電気や紙などは、できるだけ節約できるように工夫して使う  
リサイクルに使えるものは回し、使い捨てのものをなるべく買わない  
通学路をいつもきれいにする

#### 5. リーダーシップを大切にする Respect for Leadership/Authority

メンバーとしてグループによく協力する  
グループの活動ではリーダーの役割を経験してみる  
教職員の指示をよく守る  
リーダーをしている仲間が役割を果たしやすいようにサポートする  
他の人のために良いと思った活動に積極的に参加する

この他に、個々の授業やそれぞれの活動に適したルールを、担当の教員や校長・教頭先生やらが作る場合があります。それは例えば「学習を大切にする」ということが、図書館と体育館ではそれぞれどう考えればよいのか、実際には違って来るからです。構内のいろいろな場所や教室でのルールを作るときには、担当の教員は線との参加を求めるのが普通です。

---

### 3 つの禁止事項

---

千里国際学園は、できるだけ生徒の自主性を尊重する考え方をとっていますが、校舎の建物の様子や、個々の教員の千里国際学園に来る前の経験などから、次の三つの禁止事項を置いています。

#### 1. スケートボード

本人ばかりではなく周りの人々を巻き込んだ事故を起こす可能性があり、とても危険です。安全のため、構内と通学路でのスケートボードの使用を禁止します。特に校内にはガラスの箇所が多く、床が滑りやすく、小さな子供たちもいっしょに学習している状況にありますので、厳禁とします。

#### 2. 有害薬物など

日本の法律でも禁止されているので当然のことですが、有害な物質は、使っている人の精神や身体を破壊するばかりではなく、周りの人も大変な危険にさらすことになるので、禁止します。タバコ、麻薬・覚醒剤などの薬物、アルコール飲料に生徒が手を出すことを、学校は決して許しません。

\* なお、本校校舎はノンスモークビルディングであり、校舎内全館禁煙区域となっています。生徒はもちろん、教員、職員、保護者、来客など誰かれにかかわらず、学校施設内での喫煙は禁止されています。

#### 3. チューイングガム

学校の施設・教材や個人の持ち物を、使えなくしてしまったり、汚くしてしまうので、学内でガムを噛むことを禁止します。校舎の床などにいったんはりついたら、はがすのは大変な作業なのです。

\* この他にも、見過ごされてしまうようになると千里国際学園のような教育理念を持つ学校が成り立たなくなるような行為に対しては、SISの場合、話をよく聞いた上で、校長から罰が与えられることがあります。例えば、考え方や文化の違いを原因にする暴力やけんか、悪質ないじめ、人のお金や持ち物を盗む行為などです。これらはあまりにも当然なことがらのため、いちいち「禁止事項」には掲げていません。罰の内容は、よく事件の様子を調べた上で、そのつどよく考えた上で決められています。また、罰を与えられても反省がなく、繰り返して悪質な行為をする生徒に対しては、学校を辞めてもらうこともあります。

\* なお、携帯電話については別に定めます。